

反射テスト 論理 全称記号と存在記号とその否定 01

1. 例にならって、集合の記号と全称記号 \forall と存在記号 \exists を用いて次の条件を表せ。また必要とあれば実数は \mathbb{R} 、整数は \mathbb{Z} を用いること。
(S級1分, A級1分30秒, B級2分, C級2分30秒)

例1. あらゆる実数 x に対して, $x^2 \geq 0 \Leftrightarrow \forall x \in \mathbb{R}, x^2 \geq 0$

例2. $x^2 = 1$ を満たす実数 x が存在する $\Leftrightarrow \exists x, x^2 = 1$

(1) $x > 0$ を満たすあらゆる x に対して, $f(x) > 0$

(2) $f(x) = 0$ を満たす実数 x が存在する.

(3) 「あらゆる整数 n に対して, $f(n) > 0$ 」の否定

(4) 「 $f(x) \leq 0$ を満たす x が存在する」の否定

2. 例にならって、集合の記号と全称記号 \forall と存在記号 \exists を用いて次の条件を表せ。また必要とあれば実数は \mathbb{R} 、自然数は \mathbb{N} を用いること。
(S級1分, A級1分30秒, B級2分, C級2分30秒)

例1. あらゆる実数 x に対して, $x^2 \geq 0 \Leftrightarrow \forall x \in \mathbb{R}, x^2 \geq 0$

例2. $x^2 = 1$ を満たす実数 x が存在する $\Leftrightarrow \exists x, x^2 = 1$

(1) $-1 \leq x \leq 1$ を満たすあらゆる x に対して, $f(x)$ は正 (2) $f(x)$ が負になる実数 x がある.

(3) 「あらゆる自然数 n に対して, $a_n \neq 0$ 」の否定

(4) 「 $f(x) \geq g(x)$ を満たす x が存在する」の否定

反射テスト 論理 全称記号と存在記号とその否定 01 解答解説

1. 例にならって、集合の記号と全称記号 \forall と存在記号 \exists を用いて次の条件を表せ。また必要とあれば実数は \mathbb{R} 、整数は \mathbb{Z} を用いること。
(S級1分, A級1分30秒, B級2分, C級2分30秒)

例1. あらゆる実数 x に対して, $x^2 \geq 0 \Leftrightarrow \forall x \in \mathbb{R}, x^2 \geq 0$

例2. $x^2 = 1$ を満たす実数 x が存在する $\Leftrightarrow \exists x, x^2 = 1$

(1) $x > 0$ を満たすあらゆる x に対して, $f(x) > 0$

(2) $f(x) = 0$ を満たす実数 x が存在する.

$$\forall x > 0, f(x) > 0$$

$$\exists x \in \mathbb{R}, f(x) = 0$$

☆別解 他の論理記号を用いて

$$\forall x (x > 0 \wedge f(x) > 0)$$

☆別解 他の論理記号を用いて

$$\exists x (x \in \mathbb{R} \wedge f(x) = 0)$$

(3) 「あらゆる整数 n に対して, $f(n) > 0$ 」の否定

(4) 「 $f(x) \leq 0$ を満たす x が存在する」の否定

$$\exists n \in \mathbb{Z}, f(n) \leq 0$$

$$\forall x, f(x) > 0$$

☆別解 他の論理記号を用いて

$$\exists n (n \in \mathbb{Z} \wedge f(n) \leq 0)$$

☆別解

$$\forall x f(x) > 0$$

★ 全称記号の否定

全称記号の否定は存在記号になる.

例えば「あらゆる人が笑う」の否定は,
「笑わない人が(1人は)いる」と考えられる.

★ 存在記号の否定

存在記号の否定は全称記号になる.

例えば「泣く人がいる」の否定は,
「あらゆる人が泣かない」と考える.

2. 例にならって、集合の記号と全称記号 \forall と存在記号 \exists を用いて次の条件を表せ。また必要とあれば実数は \mathbb{R} 、自然数は \mathbb{N} を用いること。
(S級1分, A級1分30秒, B級2分, C級2分30秒)

例1. あらゆる実数 x に対して, $x^2 \geq 0 \Leftrightarrow \forall x \in \mathbb{R}, x^2 \geq 0$

例2. $x^2 = 1$ を満たす実数 x が存在する $\Leftrightarrow \exists x, x^2 = 1$

(1) $-1 \leq x \leq 1$ を満たすあらゆる x に対して, $f(x)$ は正 (2) $f(x)$ が負になる実数 x がある.

$$-1 \leq \forall x \leq 1, f(x) > 0$$

$$\exists x \in \mathbb{R}, f(x) < 0$$

☆別解 他の論理記号を用いて

$$\forall x (-1 \leq x \leq 1 \wedge f(x) > 0)$$

☆別解 他の論理記号を用いて

$$\exists x (x \in \mathbb{R} \wedge f(x) < 0)$$

(3) 「あらゆる自然数 n に対して, $a_n \neq 0$ 」の否定

(4) 「 $f(x) \geq g(x)$ を満たす x が存在する」の否定

$$\exists n \in \mathbb{N}, a_n = 0$$

$$\forall x, f(x) < g(x)$$

☆別解 他の論理記号を用いて

$$\exists n (n \in \mathbb{N} \wedge a_n = 0)$$

☆別解

$$\forall x f(x) < g(x)$$

★ 全称記号の否定

全称記号の否定は存在記号になる.

例えば「あらゆる人が笑う」の否定は,
「笑わない人が(1人は)いる」と考えられる.

★ 存在記号の否定

存在記号の否定は全称記号になる.

例えば「泣く人がいる」の否定は,
「あらゆる人が泣かない」と考える.